

地域協働かわらばん

つながる



(輪・和・WA…)

第15号(平成25年1月4日発行)  
発行:盛岡市地域協働推進事務局〒020-8530 盛岡市内丸12-2  
Tel.651-4111(内線3851)E-mail  
chiikikyodo@city.morioka.iwate.jp

## 1 渋民地区でワークショップが開催されました

渋民地区自治会連絡協議会(佐々木由勝会長)では、地域づくり計画の策定を進めていますが、地域の皆さんの意見を計画に反映させるためのワークショップを、渋民公民館を会場に、11月21日から12月1日にかけて3回開催しました。

3回目のワークショップには、渋民中学校の生徒さんも多数参加し、班に分かれて、地域の自慢できることや、生活する上で困っていることを話し合うとともに、地域の未来予想図づくりに取り組みました。

地域の自慢できる場所として、河川や湧水が豊富で自然が豊かなところや岩手山、姫神山の眺望が良いこと、地域内にスキー場や温泉があることなどが挙げられました。



一方、生活する上での困りごととしては、公共交通機関が不便なことや、歩道や街路灯が少なく、通学等に不安を感じるなどの意見がありました。



地域の未来予想図づくりでは、中学生のある班では、10年後の中学校をテーマに、校舎の配置や制服のデザインなど、様々なアイデアが盛り込まれた絵を模造紙いっぴいに描きました。

最後に、渋民地区を良くしていくために、自分が取り組むことについて考え、お互いに発表しあいました。

ワークショップでの中学生のフレッシュな意見は、周りの大人の皆さんにとっても、きっと新しい発見があったのではないかと思います。

今後は、このワークショップの成果を最大限生かして、渋民地区ならではの地域づくり計画にまとめることが期待されます。

## 2 職員向け研修を実施しています

地域協働に対する市職員の理解を深めるため、市は職員向けの特別研修を11月20日にプラザおでつで開催いたしました。

今回で3回目となる特別研修には、職員約180人が参加し、地域協働推進事務局から制度の概要等について説明するとともに、岩手県立大学総合政策学部の倉原宗孝教授を講師に、「参加・協働によるまちづくり～地域協働がめざすもの」と題して、地域協働等の事例を含め協働の必要性について講演いただきました。



(職員研修の様子)

市職員に対する研修は、同様の研修を昨年度から来年度に実施することとしているほか、新採用職員に対しても毎年度実施しており、数年後には概ね全職員が受講する予定となっています。

市では、この研修や、地域づくり支援員の配置を通じて、職員の協働意識をさらに高めていくこととしています。

## 3 出前説明会を募集しています

地域協働に関心のある方や、取組んでみたい地区を対象に、出前説明会を開催しています。

市内の5人以上のグループであれば、職員が会場に出向いて地域協働の概要などの説明を行います。

詳しくは地域協働推進事務局（TEL651-4111 内線3851）までお問い合わせください。



### 今月の1コマ



今月は、先月号でお知らせした青山地区のあいさつ運動の様子をご紹介します。

青山小学校では、朝の通勤・通学時間帯に、週2回児童の皆さんが通学路に立ち、朝のあいさつを行っていますが、これに合わせて青山地区まちづくり協議会も一緒に、街頭でのあいさつ運動に取り組みました。

当日は、最低気温が氷点下となり寒い朝でしたが、出勤や登校される地区の皆さんに「おはようございます。」と声をかけると、多くの方から返事があり、あいさつが地域のコミュニケーションの基本であることをあらためて実感した一日でした。